

衆議院環境委員会ニュース

平成 21.3.31 第 171 回国会第 4 号

3 月 31 日（火）第 4 回の委員会が開かれました。

- 1 土壌汚染対策法の一部を改正する法律案（内閣提出第 59 号）
土壌汚染対策法の一部を改正する法律案（参議院提出、第 168 回国会参法第 11 号）
- ・ 斉藤環境大臣、石田農林水産副大臣、吉野環境副大臣、古川環境大臣政務官及び政府参考人並びに発議者参議院議員岡崎トミ子君（民主）、大石正光君（民主）、鈴木寛君（民主）、大河原雅子君（民主）及び田中康夫君（民主）に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

高木 美智代君（公明）

- ・ 政府案について、改正のポイントを伺いたい。
- ・ 東京都中央卸売市場移転予定地である豊洲地区は政府案の適用対象となるのか。
- ・ 政府案と参法とでは、どのような違いがあるのか伺いたい。

田名部 匡 代君（民主）

- ・ 政府案において、自主的調査が適切に行われたかどうかを都道府県知事はどのようにして把握するのか。
- ・ 指定調査機関の調査結果への信頼性は必ずしも十分ではないと考えるが、信頼性を深めていくために環境省はどのように取り組んでいく考えか。
- ・ 政府案において、都道府県知事による土壌汚染に関する情報の収集、整理、保存及び提供は努力義務となっているが、そのようにした理由を伺いたい。

近藤 三津枝君（自民）

- ・ 現行法の見直し期限である 2013 年よりも前倒しで政府案を提出した理由及び同政府案の趣旨について大臣に伺いたい。
- ・ 汚染土壌が適正に運搬・処理されたことを確認するため、高い精度で追跡調査できる GPS システムを活用した制度の導入が必要と考えるが、これについての見解を伺いたい。
- ・ 現下の厳しい経済情勢を踏まえた土壌汚染対策に係る取組方針について大臣の総括的な所見を伺いたい。

坂井 学君（自民）

- ・ 参法における政令で定める特定公共施設等とは具体的に

何を指すのか。

- ・ 政府案の第 4 条は土地そのものに着目しているという理解でいいのか。
- ・ 政府案で規定された措置実施区域または形質変更届出区域の指定申請を自主的に行うメリットは何か。

吉田 泉君（民主）

- ・ 土壌汚染の原因別判明事例で最も多かった「不適正な取扱い」の具体的事例にはどのようなものがあるのか。また「不適正な取扱い」は違法行為となり罰則の対象になるのか確認したい。
- ・ 汚染土壌の搬出に関し、汚染土壌の不適正処理事例件数及び量はどのくらいあるのか。また、汚染土壌の主な搬入先及びその割合はどのようになっているのか。
- ・ 汚染の除去等の措置に関し、「盛土」、「原位置封じ込め」、「掘削除去」の措置が原則的に必要と判断されるのはどのような場合か、また、政府案では「掘削除去」措置への偏重を是正することを趣旨としているのか。

川内 博史君（民主）

- ・ 参法を提出した背景、経緯及び同改正案により期待できる改善点について参法発議者に伺いたい。
- ・ 政府案において、東京ガス旧工場跡地である豊洲地区は規制の対象となるのか。
- ・ 農林水産省は、ベンゼン及びシアン化合物の成分が付着した生鮮食料品を扱うような卸売市場が、卸売市場としての機能を果たせると考えているのか。